

組 番 名前

<様々な植物の分類>

植物カードをこれまでに学習した観点をういて分類してみましょう。

[目的]これまでの知識を活用して植物の分類に根拠をもつことができるようにする。

[準備]①植物カードTypeD ②ホワイトボードセット

[方法]

- ①大き2つに分けてみる。
- ②話し合う、発表する。
- ③2つに分けたものをさらに2つに分けてみる。
- ④話し合う、発表する。
- ⑤さらに分けられるか考える。
- ⑥話し合う、発表する。

[結果]

①の分け方 <観点:花を咲かすか咲かないか>

A サボテン、アブラナ、サクラ、キャベツ、ダイコン、スイカ、ナス、アスパラガス、イネ、ユリ、チョウリップ、アスパラ	B ワカメ、オニオクソテツ、ヒメゴケ、イヌワラビ、ゴスギコク、ヒノキ、ソテツ、スギ、イチョウ
---	--

③の分け方 節

Aグループの分け方<観点:実がでるかできないか> アブラナ、サクラ、キャベツ、ダイコン、スイカ、ナス、イチョウ、イネ	Bグループの分け方<観点:葉が通年葉か冬葉か> サボテン、ユリ、アスパラガス
---	---

⑤の分け方<観点:裸子が裸子>

A スイカ、ナス、サクラ、キャベツ、アブラナ、ユリ、チョウリップ、サボテン、ダイコン、アスパラ、イネ	B スギ、イチョウ、ソテツ、ヒノキ
--	-------------------

\* それ以外に分けられればどちらのグループか

グループ・観点:	>
----------	---

[結論]植物の分類をすることでどのような利点・良い点があるか考えよう

その植物の特徴をつかむことができる

[感想・その他疑問に感じたこと]

植物にも色々な種類があって人間みたいだと思った

組 番 名前

<様々な植物の分類>

植物カードをこれまでに学習した観点をういて分類してみましょう。

[目的]これまでの知識を活用して植物の分類に根拠をもつことができるようにする。

[準備]①植物カードTypeD ②ホワイトボードセット

[方法]

- ①大き2つに分けてみる。
- ②話し合う、発表する。
- ③2つに分けたものをさらに2つに分けてみる。
- ④話し合う、発表する。
- ⑤さらに分けられるか考える。
- ⑥話し合う、発表する。

[結果]

①の分け方 <観点:花が咲くか咲かないか>

A 咲く ユリ、ナス、アスパラガス、アブラナ、サクラ、ダイコン、キャベツ、スイカ、サボテン、チョウリップ	B 咲かない ワカメ、オニオクソテツ、イヌワラビ、セニゴク、ヒメゴケ、ゴスギコク、サボテン、ヒノキ、ソテツ、スギ
---	---

③の分け方

Aグループの分け方<観点:木> サクラ、イチョウ、スギ、ソテツ、ヒノキ	Bグループの分け方<観点:草> チョウリップ、ユリ、ナス、アスパラガス、アブラナ、ダイコン、イネ、キャベツ、スイカ、サボテン
--	---

⑤の分け方<観点:観用植物か>

A サボテン、ユリ、サクラ、チョウリップ	B ナス、アブラナ、キャベツ、イネ、アスパラガス、スイカ、ダイコン
----------------------	-----------------------------------

\* それ以外に分けられればどちらのグループか

グループ・観点:	>
----------	---

[結論]植物の分類をすることでどのような利点・良い点があるか考えよう

その植物の共通点や相違点について知り新しい発見を得ることができぬ。

[感想・その他疑問に感じたこと]

植物のいろいろな分け方を知ることができ、復習することができました。

組番名前

< 様々な植物の分類 >

植物カードをこれまでに学習した観点をを用いて分類してみましょう。

[目的] これまでの知識を活用して植物の分類に根拠をもつことができるようにする。

[準備] ①植物カード TypeD ②ホワイトボードセット

[方法]

①大きき2つに分けてみる。

②話し合う、発表する。

③2 つに分けたものをさらに2つに分けてみる。

[結果]

①の分け方 < 観点: 花弁ができるか >

A 花弁ができる  
サボテン・ナス・ユリ・キャベツ・アスパラガス  
アブラナ・ダイコン・サクラ・チューリップ・スカ  
イモ・ソテツ

B 花弁ができない  
ヒキ・ソテツ・スギ・コスギゴケ・ワカメ  
イモリビ・ゼンゴク・オニサザナツ・イモ

④話し合う、発表する。

⑤さらに分けられるか考える。

⑤話し合う、発表する。

・食べられるか  
・地が海か  
・種子ができるか  
・木か草

③の分け方

Aグループの分け方< 観点: 子葉 >  
双子葉類  
ユリ・ヒキ・ソテツ  
スギ・チューリップ・イモ

Bグループの分け方< 観点: 根 >  
シダ植物  
オニサザナツ  
イモリビ  
コケ植物  
ゼンゴク  
コスミゴケ  
苔類  
ワカメ

⑤の分け方< 観点: 根 >

主根と側根  
スギ・キャベツ・アスパラガス・アブラナ  
ナス・ダイコン・サクラ・サボテン

主根  
ユリ・チューリップ・イモ

\* それ以外に分けられればどちらのグループか

グループ・観点: >

[結論] 植物の分類をすることでどのような利点・良い点があるか考えよう

その植物と、どれが似ている強弱はいるか分かる。  
...の植物と、どれが似ている強弱はいるか分かる。

[感想・その他疑問に感じたこと]

双子葉類の花弁は種類が非常に多くて分けられるというところ、どのよう  
なものがあるのか調べてみたい。

組番名前

< 様々な植物の分類 >

植物カードをこれまでに学習した観点をを用いて分類してみましょう。

[目的] これまでの知識を活用して植物の分類に根拠をもつことができるようにする。

[準備] ①植物カード TypeD ②ホワイトボードセット

[方法]

①大きき2つに分けてみる。

②話し合う、発表する。

③2 つに分けたものをさらに2つに分けてみる。

[結果]

①の分け方 < 観点: 葉の形 >

A  
ソテツ・ヒキ・スギ・ソテツ・イモ  
ナス・チューリップ・アブラナ  
イモリビ・サクラ

B  
ユリ・ヒキ・ソテツ  
ナス・チューリップ  
アブラナ  
イモリビ  
イモ

③の分け方

Aグループの分け方< 観点: 葉脈 >  
サクラ・アブラナ・イモ  
イモリビ  
ソテツ

Bグループの分け方< 観点: >

⑤の分け方< 観点: 葉脈の形 >

サクラ・アブラナ・イモ  
イモリビ

アブラナ・イモ

\* それ以外に分けられればどちらのグループか

グループ・観点: >

ナス・イモ

[結論] 植物の分類をすることでどのような利点・良い点があるか考えよう

植物の生長する環境が分かること、  
分けられること

[感想・その他疑問に感じたこと]

葉の環境、でも共通点があるのか、という疑問が生まれた。  
分けられること、環境によって知れた。